

自分らしく輝く農山漁村女性のめざす姿

農山漁村の女性が職場や地域でいきいきと輝いて活躍するには、自ら人生を設計し、自分の役割に誇りと責任を持って行動することが大切です。ここでは、富山県内において、これらの取組みを実践している方々と、その活動の一端をご紹介します。

「地域の女性農業者の牽引役」

森下さゆりさん (有)グリーン森下 取締役

森下さんは、入善町の専業農家に嫁ぎ、家族とともに大規模農業に携わっています。若い頃から、経理やジャンボ西瓜の生産・販売管理の中心的な役割を担い、法人化後は取締役に就任。園芸部門の充実のため、モモや野菜栽培にも取り組んでいます。

入善、朝日両町の若手女性農業者とともに野菜栽培に特化したグループを結成し、栽培技術を学びながらそれぞれの経営発展の機会を作るなど、地域農業を盛り上げています。



「朝ごはんの大切さを伝える活動」

JA 富山県女性組織協議会

2009年にスタートした「朝ごはん食べよう運動」は、県内のJR駅前などで、通学途中の高校生を中心に、新米で握ったおにぎりを配布し、一日の活力源となる「朝ごはん」を食べることの大切さを伝えています。



「地域の広葉樹林を守り活かす」

江尻美佐子さん (一社) moribio 森の暮らし研究所 代表理事

江尻さんは、1999年に静岡県から家族で南砺市利賀村に移住し、2012年にmoribioを開業。2014年に一般社団法人化し、森林資源を活かしながら森に寄り添った暮らしを模索・提案する活動を行っています。

森林整備や屋敷林の伐採、森林生態系多様性基礎調査を請負うほか、独自に、森林環境教育活動や、山村資源の新たな活用方法として、自生するクロモジを使った「利賀のクロモジ茶」の商品化と販売を行うなど、森を守り活かす多様な活動に取り組んでいます。



「魚食の大切さと、富山の魚をPR！」

富山県漁業協同組合女性部連合会

地元の魚を自分たちで調理して食べてもらいたいとの思いから、魚食普及活動の一環として、短大や高校等で「魚の捌き方教室」を行っています。魚の栄養価の高さを説明し、調理方法や地元ならではの食べ方や伝承料理を紹介し、地産地消にも努めています。



富山県農山漁村女性活躍プラン

男女共同参画社会の実現で築く次代の農山漁村

～自分らしく輝く農山漁村女性をめざして～



2019年3月

【お問合せ】 富山県農山漁村女性活動推進会議 事務局 富山県農林水産部 農業技術課
〒930-0004 富山市桜橋通り5番13号 富山興銀ビル TEL:076-444-3277 FAX:076-444-4409

富山県農山漁村女性活動推進会議の構成団体

JA 富山県女性組織協議会 富山県漁業協同組合女性部連合会 富山県地域活性化グループ協議会
富山県農業者協議会 富山県林業研究グループ協議会 富山県青年農業者協議会

富山県農林水産部
富山県農山漁村女性活動推進会議

「富山県農山漁村女性活躍プラン」の概要

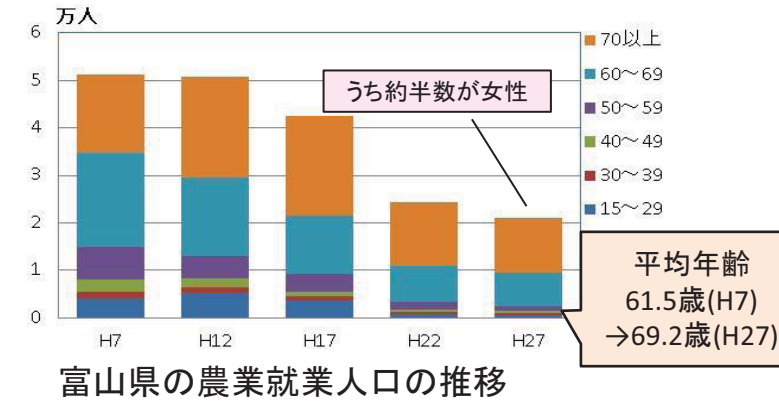
【目標年度：2026】

農林漁業関係団体や県等の関係機関が連携・協力のもと、3つの施策目標に向けて、農山漁村女性の主体的な活動を支援し、農林漁業および農山漁村地域における男女共同参画社会の実現と女性の活躍を進めます。



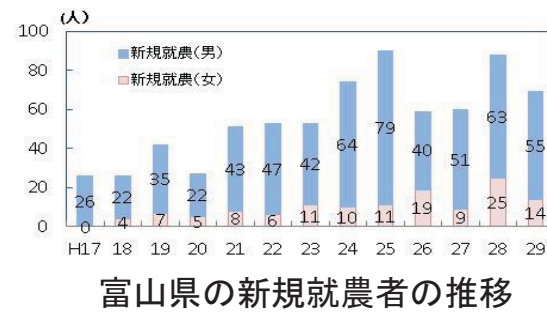
〔農山漁村における主な動き〕

○農業就業者の減少等、高齢化の進展
共同社会としての農山漁村の機能維持が課題



○これまで大規模化や法人化をすすめてきた結果、農業が職業として選ばれるようになり

①女性の新規就農者は増加
(直近5年で平均15人)



②生産現場では若手女性経営者の誕生や、地域での若手女性グループが活躍するなどの動きが芽生えてきている



・付加価値の高い野菜栽培と相互の技術研鑽に向け自主的に活動
・JA直売所の販い創出や、地域伝統野菜の技術継承などに貢献

〔プラン趣旨〕

①農林漁業に従事する女性
②農山漁村に暮らす女性
一人ひとりが、其々の職場や地域で
持てる能力を最大限に発揮し、
活躍できる環境をつくる

仲間が集い、ネットワーク化
そして社会参画へ踏み出そう！

新たな方向性

「経営参画」から

「社会参画」へ！！

〔推進事項〕

〔具体的な施策〕

〔目標指標〕

Ⅰ 経営参画

〔施策目標〕 経営に参画し活躍する女性の実現

- 個々の技術や経営能力の向上
・栽培・経営・起業・6次化・機械作業等研修の充実
- 経営体や起業事業者の育成
・女性認定農業者や女性役員がいる法人経営体の育成
・起業の発展に応じた施設等の整備
- 女性の後継者が育つ就業環境づくり
・女性が働きやすく、後継者が定着する就業条件の推進や施設整備

○栽培技術、機械技能、販売・流通知識、経営管理技術の向上に向けた研修会の開催
○専門家派遣による助言、講座制研修、資格取得への誘導
○研修会での託児サービス等、女性が参加しやすい仕組づくり
○女性経営者の育成に向けたセミナーの開催支援と知識の高度化

○女性の認定農業者や法人役員への誘導
○加工用機械、施設等の整備支援
○起業事業者のネットワーク化促進と連携活動による販売力の向上
○新商品開発、既存商品のブラッシュアップ、マーケティング強化

○女性専用トイレや休憩室などの職場環境整備支援
○アシスト用具やロボット技術、ICTの活用促進
○ライフステージに応じた就業形態の導入推進

Ⅱ 社会参画

〔施策目標〕 地域社会で活躍する女性の実現

- 社会的責任を担うリーダーの育成
・政策・方針決定に関わる女性役員、女性委員の登用促進
・地域参画リーダーの育成に向けた研修の充実
- 女性による地域活動の促進
・農林漁業の魅力発信に向けた活動の実施
・地産地消の普及と食育活動の推進
- 女性の仲間づくりの促進
・地域内交流や広域ネットワーク化の促進
・若手女性リーダー候補の育成

○各団体による役員や委員の登用促進
○地域リーダー層の資質向上に向けた重点的な研修支援

○作業体験や地場産農林水産物の提供拡大による子供達と地域のふれあい促進
○朝ごはん食べよう運動等の展開

○若手女性の交流促進による裾野の拡大とグループ化の促進、異業種との交流促進
○若手女性グループが企画・実践する活動への支援とリーダー候補の育成、さらに女性団体・組織等との連携促進

Ⅲ 啓発活動

〔施策目標〕 互いを認め尊重する意識・行動の促進

- 男女共同参画に関する啓発活動の強化
・共同参画推進活動への参画・参加促進
・女性が活躍するロールモデルの普及啓発
- 関連団体の連携強化
・農林漁業従事者等の交流、連携活動の活性化

ロールモデル
女性には⇒身近な手本、模範
男性には⇒女性参画への理解、女性雇用の促進

○県内の身近なロールモデルによる女性活躍に向けた提案と研修会等での啓発
・女性の視点を生かした経営や地域への関わり方
・女性が働きやすい環境づくりへの取組み

○推進大会への男性の参加誘導促進

○関係団体との共同行動、他産業との連携・交流推進

項目	現状 2016年度	中間目標 2021年度	目標 2026年度
1 農山漁村女性起業家数	183件	202件	222件
2 うち売上高 1,000万円以上	38件	45件	50件
3 女性が主体的に経営参画 する農業経営体数 (女性認定農業者+女性役員がいる農業法人)	200経営体*	212経営体	224経営体
4 農協における 女性役員の割合	8.3%	15%以上	15%以上
5 農業委員会における 女性委員の数	30人	40人	50人
6 農業体験や食農教育活動の 実施数	47回/年*	50回/年	50回/年
7 魚食普及活動の実施数	29回/年	30回/年	30回/年
8 林業研究グループ 女性会員数	21人	25人	25人
9 女性の地域参画が進んでいると 思う農林漁業者の割合	45.5%	60%	70%
10 男女共同参画推進大会の 男性の参加数	24人/大会*	40人/大会	60人/大会
11 農林漁業、農山漁村で活躍する 女性ロールモデル選定数(累計)	0事例	25事例	30事例

※現状値は2017年度の値

◎は、本プランからの新しい指標

煌々とやまの農業女子PJ(仮称)
・若手女性グループの
企画・実践活動を支援
・ロールモデルの普及啓発